

科目名	身体障害治療学Ⅱ				授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	後期	必修・選択	必修	

〔授業の目的・ねらい〕

身体機能作業療法学の基礎を理解できる。

〔授業全体の内容の概要〕

身体機能障害の治療に関する評価法を確認し、問題点となる障害に合わせた治療手技を学ぶ。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

身体機能障害の治療原理を理解し、治療手技を習得する。

回数	講義内容
1	身体機能作業療法学の基礎
2	身体機能障害の治療原理 対象者とセラピストのためのボディメカニクス 運動制御と運動学習
3	身体機能障害の治療原理 関節可動域の維持・拡大
4	身体機能障害の治療原理 筋力と筋持久力の維持・増強
5	身体機能障害の治療原理 筋緊張の異常とその治療
6	身体機能障害の治療原理 不随意運動・協調運動障害とその治療
7	身体機能障害の治療原理 知覚再教育
8	身体機能障害の治療原理 廃用症候群 まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎テル子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。